

Ⅲ. お客様のエネルギー利用に貢献する技術の開発

技術革新の進展により、各エネルギー源の用途が拡大するなど、今後、お客様が多様なエネルギーを選択できる環境が整っていくと予測される。また、お客様の省エネルギーや節電への意識は従来以上に高まっており、環境に配慮したエネルギーの効率的利用が求められている。

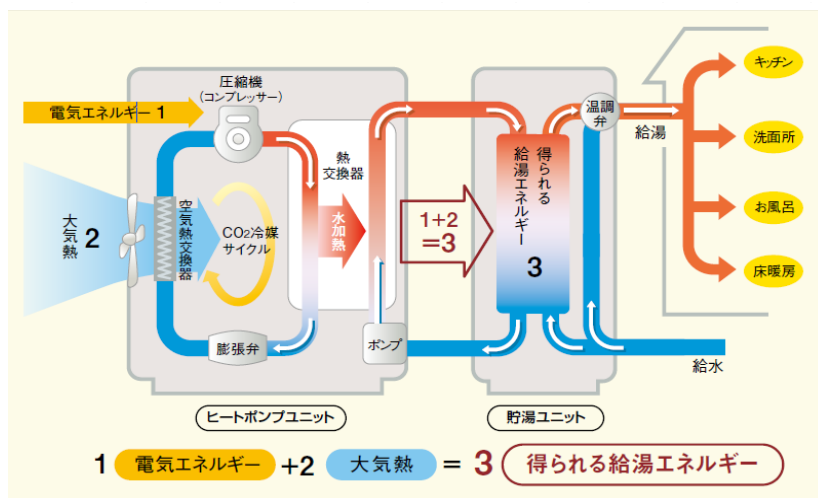
お客様のエネルギー利用における省エネルギー化や高効率化など、お客様サービス向上に向けた技術開発に取り組むとともに、お客様の利便性向上に資する技術開発に取り組む。

<技術開発の取り組み事例>

1. お客様サービス向上に向けた技術開発

ヒートポンプ・蓄熱技術

これまでに開発した自然冷媒（CO₂）のヒートポンプ給湯機について、省エネルギーやCO₂排出抑制による環境保全をより一層推進するため、高効率化などの技術開発を推進するとともに、その他のヒートポンプ技術や蓄熱・蓄電利用技術についても、高効率化、コンパクト化に向けて取り組んでいく。



ヒートポンプ給湯機の仕組み
(出典:電気事業連合会パンフレット)

2. お客様の利便性向上に資する技術開発

電気自動車関連技術

電気自動車は、ガソリン車と比較して CO₂ 排出量を抑制できるなど環境性能が高く、近年のリチウムイオン電池の性能向上などを背景に、各自動車メーカーでは本格的な普及に向けた開発が進められ、2009 年度から、従来より大幅に性能が向上した新世代の電気自動車やプラグインハイブリッド車が、市場投入されている。電気事業としても、走行試験、充電器の開発、急速充電器の国内外での標準化など、ユーザーの利便性向上に向けて取り組んでいる。また、業務用車両への電気自動車やプラグインハイブリッド車の導入を進めている。

電気自動車



急速充電器



電気自動車と急速充電器
(出典：CHAdeMO 協議会)